



命の最後と向き合う。

(1) ねらい

人生の最終段階における身体の変化や家族の関わり方を学び、看取りへの理解を深める。



(2) 対象

| 園 | 小 | 中 | 高 | 一般 |
|---|---|---|---|----|
| | ○ | ○ | ○ | |

(3) メニュー提供者

おうみ在宅クリニック

(4) 形態

出前授業

(5) 関連教科等

保健体育科、特別活動、
特別の教科道徳
総合的な学習(探究)の時間

(6) 土曜日対応

応相談

(7) メニュー詳細

医師または看護師が講師として伺い、がんを含む終末期の患者さんがどのように亡くなっていくのか、そのとき家族がどう向き合えばよいのかを、在宅医療の実体験をもとにお話します。「そばにいたいこと」に意味があるという視点を共有し、参加者が最期を怖れず、自分や大切な人の「命の最後」を前向きに考えられる機会とします。

45分、60分、90分など授業時間に合わせて内容を調整します。

例:「人はどのように亡くなっていくのか～在宅医療の現場から～」

最期の過ごし方(がん患者の例)

身体の変化、意識の変化、痛みや呼吸への対応、本人の思い

家族の役割と心構え

よくある不安とその対処、そばにいたいことの意味

医療とケアの連携

在宅医・訪問看護師・家族や介護士とのかかわり

実例紹介(本人・家族の同意を得たケース)

希望をかなえた最期、家族が語る看取りの記憶

(8) 関連HP

www.omi-home-clinic.jp

(9) 費用

謝金 不要

交通費 不要

(10) その他

申し込み

この支援メニューは、しが学校支援センターを通じて申し込むかメニュー提供者のホームページまたは電話等により直接申し込んでください。

相談は、しが学校支援センターへ 電話：077-528-4654 e-mail：ma0601@pref.shiga.lg.jp